

シンポジウムの記録

「東海大地震からアーカイブズをどう守るべきか

——震災への保存と地域連携を考える——

平成二五（二〇一三）年二月七日（木）、名古屋大学シンポジオンホールにおいて、名古屋大学文書資料室主催、名古屋大学減災連携研究センター共催による、「東海大地震からアーカイブズをどう守るべきか——震災への保存と地域連携を考える——」が開催された。シンポジウムは、一三時から一七時三〇分にかけておこなわれ、約六〇名の参加者があった。

このシンポジウムでは、奥村弘氏（神戸大学大学院人文科学研究科教授）、大國正美氏（神戸新聞編集局長）、西村慎太郎氏（国文学研究資料館准教授）による講演、そしてそれらに対する山中佳子氏（名古屋大学大学院環境学研究科准教授）によるコメントののち、講演者およびコメントーターをパネリストとする討論がおこなわれた。

本号では、講演およびコメントの内容を原稿化し、当日の配布資料もしくはパワーポイントの画面とともに掲載した。掲載にあたっては、大学文書資料室が音声記録をもとに原稿化し、それを講演者およびコメントーター本人が校訂した。討論の内容などについては、別の機会に紹介することを考えている。